



森のなかま

2020年 3月号

NO. 143 (継続288号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

かながわ森林インストラクターの会が、認定 NPO 法人の認可を受けました

理事長 久保 重明

令和2年2月10日 神奈川県 NPO 協働推進課より証書を受け取り、当会(かながわ森林インストラクターの会)は認定 NPO となりました。

長年の準備期間を経た後、昨年の6月の総会にて認定 NPO 法人申請の承認を得て、9月に申請書類を提出しました。その後各種指摘事項の修正を行い、高い公益性、経営の健全性が評価され、認定の運びとなりました。今後会への寄付金が、税控除の対象になるなどの変更点がありますので、詳細については次号以降でお知らせします。

(記 広報部 黒川⑭)

16期生 33名を新たなメンバーとして迎えました

事務局長 山口 久基

2年間の養成講座を昨年の11月に修了した16期生33名をかながわ森林インストラクターの会のメンバーとして迎えました。

2月8日に各部会、事業部および管理部門の部会長・部長から各部会の内容説明と勧誘を行いました。その上で、県民参加の森づくり、ネットワーク活動の応募方法について説明し、今後の積極的な活動参加をお願いしました。活発な質疑応答もあり、16期生の皆様には当会の内容についてご理解いただけたことと思います。

(写真は、説明会の様子)

(記 写真 広報部 黒川⑭)



事務局長挨拶



森林部会 説明



16期生の皆様

新年を迎え 会員の集いを開催

日時 令和 2 年 1 月 12 日(日)

場所 やどりき水源林、松田町 わたや

参加インストラクター 「安全の集い」 78 名 「新年の集い」 69 名

令和 2 年 1 月 12 日(日) 年に一回インストラクターがやどりき水源林に集まる「安全の集い」が開催されました。松田駅からバス移動後 久保理事長の挨拶と、認定 NPO への取り組みについての説明があり、その後有志が神社へ参拝したのち、安全作業を期して乾杯、懇談となりました。

(記 写真 黒川 敏史^⑭)



理事長 挨拶



ミツマタが咲き始めていました



懇談の様子



初参加 16 期の皆様

その後場所を移して恒例の「新年の集い」が 16 期生歓迎会を兼ねて、松田町「わたや」で開催されました。1 期から 16 期まで 69 名の会員の皆様にご参加頂きました。久保理事長の挨拶と乾杯の後、11 期上宮田さんと 12 期赤崎さんの絶妙な司会で会は進行し、各期の参加者紹介と抱負が述べられました。お酒の追加を頼むほどに新年の宴席は大いに盛り上がり、上々の 2020 年のスタートとなりました。今回から、形を変えて実施した「安全の集い」と「新年の集い」にご参加頂いた会員の皆様、準備と当日の進行にご協力頂いた森林文化部会、理事の皆様に変更して御礼申し上げます。

(記 事務局長 山口 久基^⑮)

「新年の集い」の様子 @わたや

(写真 黒川 敏史⑭)



久保理事長挨拶

司会
上宮田さん
赤崎さん

会の様子



1 期の皆様



3 期の皆様



5 期の皆様



7 期の皆様



8 期の皆様



9 期の皆様



10 期の皆様



11 期の皆様



12 期の皆様



13 期の皆様



14 期の皆様



15 期の皆様



16 期の皆様



新年開運の破魔矢と絵馬を頂戴いたしました

当会賛助会員の鶴岡八幡宮 槐(えんじゅ)の会様より鶴岡八幡宮の破魔矢と絵馬を頂戴いたしました。会員の無事を祈願して、1年間会の厚木事務所に飾らせて頂きます。槐の会様には改めてお礼申し上げます。

(事務局長 山口久基)



＜自然観察部会＞ 冬の探鳥会

日時：2020 年 1 月 4 日（土）9：30-14：30 晴

場所：相模川 厚木酒井スポーツセンター ～ 相模ローズガーデン

講師：⑪松永 廣 参加インストラクター 15 名

2020 年最初の自然観察部会の研修は、冬鳥の探鳥会でした。16 期の養成講座を修了し、活動に参加して下さった 16 期の方々も多く、研修は活気があり、始終、質問や疑問が飛び交う雰囲気でした。その中から、2 名の方の感想をお送りします。 （記 部会長 赤崎 さほり⑫）

・買ったばかりの双眼鏡を手に初めての探鳥会へ参加した。「ツグミ」と告げられると方向を確認して双眼鏡で捕らえて、その動きを追う。特徴を観る。自分の図鑑と照らし合わせる。その繰り返しであつという間に半日が過ぎてしまった。帰宅してから他の図鑑も持ち出して調べてみると夏と冬で衣替えする鳥もいることを知った。参加者のみなさんからの写真もいただいたので、もう少し調べて他の季節もまたあの場所へ行って鳥たちに再会したいと思った。

（記 佐藤 悦子⑬）

・16 期の養成講座を卒業し、さっそく学びの場に向かいたいと探鳥会に参加した。まず、私が持参した双眼鏡がダメだった。6 倍のスポーツ観戦用のもので、何かの黒い物体にしか見えない。先輩方が口にする鳥名をメモし、図鑑を広げて、双眼鏡で一生懸命探して、見逃してしまう始末であった。この日見つけられた鳥は 37 種いたという。探鳥会を 5 回ほど参加しているうちに、双眼鏡で見つけられるようになって聞いた。その言葉を励みに、愛らしい鳥たちの姿を捉え、より多くの鳥たちの名前も覚えたいと思った。

（記 加納 裕美⑭）

参加者（菊地① 内野⑨ 滝澤⑤ 湯浅⑪ 水上⑬ 松石⑬ 岩田⑭ 牧石⑭
河西⑮ 飛田⑮ 小林⑮ 田村⑯ 加納⑯ 佐藤⑯ 鈴木⑯）



ツグミ



ベニマシコ



カワアイサ



雌

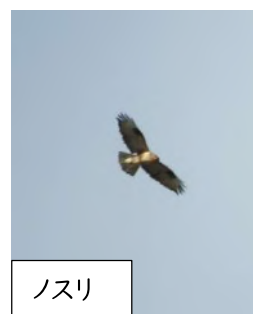
コガモ



雄



キンクロハジロ



ノスリ

写真提供 松石 藤夫⑬ 岩田 典義⑭ 田村 和善⑯

＜森林部会＞ チェーンソー講習会

日時：2020 年 1 月 19 日(日) 10:00～15:30 晴れ

場所：神奈川県立愛川ふれあいの村

研修目的：チェーンソーを利用する方を対象に、チェーンソーの基本操作、安全確保の注意点と動作確認をしながら間伐作業を行い、技能向上を目指す。

講師：森林部会有志 木村⑭ 石川⑫ 松永⑪ 水津⑨ 佐藤(武)⑤

＜記 鈴木 淳⑭ 写真 岩田 典義⑭、鈴木 淳⑭＞

前日の降雪で研修会開催に不安があったが、参加者の熱意で当日は快晴の空のもと研修会が開催されました。最初に、愛川ふれあいの村松森副所長からご挨拶をいただきました。ベテラン講師の方々から、参加者の技術レベルに合わせて基本からみっちり指導を受けました。

1 班は 16 期生を対象に、講師から森林インストラクターとしての活動及びチェーンソー間伐作業の基本まで幅広く学習しました。

2 班 3 班は、比較的経験の浅い参加者を対象に、チェーンソー間伐作業の基本である、伐倒方向の確認、受け口の作り方、会合線の向き、追い口の入れ方、等を杉の大径木の伐採で実習を行いました。又、プラロックを使った実習も行いました。大径木だけあって玉切り後の整理整頓はチョット大変(汗)だった！

4 班はベテラン受講者がヒノキの密集林かつ道路や壁があり伐倒方向の決定が難しい木、又重心位置がずれて曲がっている木の伐倒に挑戦しました。スローラインを使いロープ掛けを行い、ツルの微調整で伐倒方向を決めたり、驚いたのはワザとカカリ木にして方向を 90 度変え、さらにツルを微調整し 90 度方向を変え、狙い通りの地点に倒す技術は素晴らしかった。講師の皆様ありがとうございました。

今回の研修は、女性の参加者が多く(6 名/17 名中)、『チェーンソー女子！』養成ということで森林整備の基礎を学ぶ事は大変良い事であり、今後の各方面での活躍に期待します。

今回の間伐材は、愛川ふれあいの村で有効活用いただけるとのことです。

参加者：菊池① 大澤⑩ 山口⑩ 江上⑬ 宇田川⑬ 斉藤⑬ 前田⑬ 小林⑭ 谷⑭ 牧石⑭ 石垣⑮ 竹内⑮
飛田⑮ 岡村⑯ 鈴木⑯ 中澤⑯ 永田⑯ 17 名 事務局：岩田⑭ 滝澤⑤ 鈴木⑭



『NPO法人かながわ森林インストラクターの会』はこんな事をやっています

- ① **県民参加の森林づくり** かながわトラストみどり財団主催「県民参加の森林づくり」に参加する県民の方々に作業・安全指導を行います。作業は、植樹・下刈り・枝打ち・間伐・竹林整備など森の中での作業になります。
 - ② **ネットワーク活動** 企業、公的機関、学校などの要請により、上記①と同様な森林づくり作業や、自然観察、クラフトなどの環境保全啓蒙活動を行います。自治体のイベントにブースを出すこともやっています。(インストラクターへの募集は随時行っています)
 - ③ **やどりき水源林** やどりき水源林の「森の案内人」として土日に常駐しています。主に自然観察、森林癒やし、クラフト指導を行います。
 - ④ **自然観察会、森林探訪** 一般参加者を募集して、インストラクターが自然観察の案内をします。
 - ⑤ **事業部活動** 長期的(3-5 年)な計画の下、企業が行う環境保全活動の推進と社員参加時の活動指導を行います。日本触媒の森、SMAS の森 などがあります。(インストラクターは、ある程度固定メンバーになります)
- 上記多岐にわたる作業実施はもちろん参加者の指導ができるように研鑽の場(研修会)を提供しているのが、森林部会、自然観察部会、森林文化部会、普及啓発部会、森林癒やし部会になります。部会員はスキルアップが図れ、部会活動の運営や、インストラクターの指導を担当します。

(記 広報部 黒川⑭)

活動短信

今回の掲載は R1 年 11 月 23 日～12 月 18 日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

3 月(弥生)(旧暦 2 月如月)の二十四節気

啓蟄 3/5 頃

虫の動きも、今年は早まっていますね。

春分 3/21 頃

今年の桜開花予想は、ついに春分前になりました。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば 1 枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合 XX 様

例 川崎市公園緑地協会・XX 様

イ インストラクター (○数字:期) 研 研修枠

以下の本文を概ね 400 字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

◆ 21 世紀の森 自然観察会⑥

日 令和元年 11 月 23 日(土)10:00～14:30 雨

場 県立 21 世紀の森

参 2 名(大人 1 名 ⑥ 1 名)

スタッフ 21 世紀の森 早川様

イ L 杉崎⑩

ゆこかもどろか時雨の中を…! こう云う観察会も…あってもいいか!

9 時頃雨上がるの予報に反して雨も風も激しくなってきたが、バッチリ長靴装備で濡れるの覚悟の参加者(高齢ご夫妻)の意気を受けては、「時雨観察会」の腹を決める。

木工センター周辺の色付き始めたカエデやツタの濡れて艶やかな紅色が雨中なれど目を見張らせる。ムクロジの樹冠いっぱい黄の落ち着いた色合いや雨にふるえて縮かんで、緑のくすんで垂れ下がるトチノキの大きな掌葉。

カツラの谷から霧が噴き上がると、辺り一面カaramelの香りに包まれ、しばらく留まる。雨に濡れた林道をここかしこさだめなく漂う柑橘の香り。舗装路面に散乱したカラスザンショウの実の匂い成分が雨に溶け込み路面を這って下ってくるのだ。

晴れの日に味わえぬ落ち着いた静けさの中に深みゆく秋の風情を感じることができた「時雨観察会」でした。寒雨の中、ふれあい食堂を開設していただき、暖かく美味しい山菜蕎麦に一同感謝です。

(記 杉崎 恒三⑩)

◆ 横浜市立西本郷小学校 間伐体験

日 令和元年 11 月 24 日(日) 12:15～14:20 晴れ

場 相模原市 長竹承継分収林

参 87 名(大人 8 名・子供 79 名)

財 内田様

イ L 柏倉④ 渡部⑦ 有坂⑦ 久保⑧ 小沢⑨

松山⑩ 松本⑪ 西出⑫ 木村⑬ 小松⑭

早朝からの雨が午前中で上がり、午後からの間伐体験の時には、爽やかな秋空となりました。6 月 26 日に実施する予定であったが事情によりやむなく中止になった為、本日用われました。

各班男女混合 9 人で、ヒノキ 1 本の伐倒とコースター作りですが、午後の活動の為、1 時間 30 分の短縮作業となりました。初め慣れない間伐鋸に苦労していましたがコースターを切る頃にはまっすぐに早く切れるようになっていました。作業の最後に切り株のヒノキの香をかぎ、年輪を数え全員の名前を書き、感謝を込めて「有り難うございます」の大きな声が森に響いていました。

山を下りる時もみんなで楽しそうに歌を歌って帰りました。インストラクターとしても子供達が森に溶け込んでいるのを見れる事は一番の喜びだと感じました。今年最後の学校関係のネットワーク活動が 1 人の怪我もなく終える事ができたのも嬉しく思いました。(記 木村 勇⑭)

かながわしずくちゃん Facebook は下記 URL で見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 県民参加の森林づくり (除伐)

日 令和元年 12 月 1 日(日) 8:40～14:00 晴れ

場 秦野市千村(頭高山)

参 36 名(男性 26 名、女性 10 名)

財 大木様、古舘様

看 佃様

スタッフ 秦野市環境共生課 腰塚様、千村共有地管理組合 石井様

イ L 牧石⑭、相馬⑤、村井⑨、宮下⑩、大橋⑪、山下⑪、伊東⑭、阿藤⑮、河西⑮、末原⑮

「八重桜の里」として知られる頭高山で、昨年に続き二回目となる除伐作業が行われました。経路を挟んで班別に分れた山頂付近の作業場所は、アオキやウツギ類の他、タラノキやマユミ等の灌木（枯れ木含む）が其処彼処に生育する斜面で、一部ではスキも繁茂していました。

不安定な足元に加え、灌木にはフジや野バラ等のつる植物が絡みつき、手鋸での作業と棘に苦戦を強いられる場面も見られ



ましたが、参加者の間で手分けをしたり互いに協力し合いながら刈り進め、各班とも予定の終了時間より早く作業を完了しました。除伐を終え視界の広がった北側斜面からは、冬空の下、大山や塔ノ岳、鍋割山など丹沢の山々を望むことができ、短い時間ながらも作業の達成感を味わうことができました。

作業後は、歩いて僅か数分の頭高山山頂（標高 303m）から再度眺望を楽しんだ後、経路を戻りました。集合場所ではスタッフの方よりトン汁が振る舞われ、暖かい陽射しの中で昼食と作業後のひと時を楽しみました。

班毎に行われた反省会では「楽しかった!」、「また参加したい!」などの意見が多く挙がり、参加者の多くが満足されたようでした。次回開催に期待するとともに、また桜の季節にも是非訪れたいと感じる一日でした。（記 末原 興一⑮）

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は 4 月号です。

森のめぐみ シリーズ

◆ [かわさきの森づくり] 実践編（竹林整備）

日 令和元年 12 月 15 日(日)9:00～12:00 曇り
場 川崎市高津区 久末籠場谷特別緑地
参 20 名(男 14 名、女 6 名)
スタッフ (公財)川崎市公園緑地協会 野牛様他 2 名
イ L 渡部⑦

・場所は、住宅地の裏山で地主から川崎市に整備を委託された孟宗竹林であった。

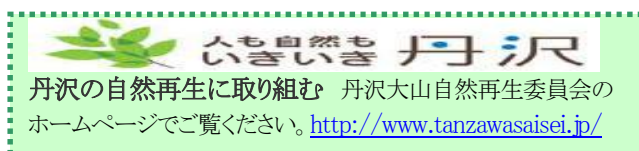
・川崎市公園緑地協会が主催する：里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」実践編、今年度 13 回シリーズの最後の講座だった。

・作業は参加者を 3 班に分けて、担当エリア内で、

台風等で倒れた竹の片付け・整理及び間伐作業を実施した。

・作業休憩時間に「ミニ講座」があり、渡部が担当して「竹の豆知識」について説明した。

・感想：講座も 13 回目であり、参加者は鋸の使い方、安全知識は習得していたため、作業は予想以上に早く進んだ。4 月から開始した養成講座の成果が感じられた。（記 渡部 公⑦）



◆ 県民参加の森林づくり活動（竹林整備）

日 令和元年12月18日(水)8:00～13:30 晴れ
場 川崎市麻生区(栗木山山王特別緑地)
参 33名
県 川崎市:緒方様、森田様、公園協会:野牛様、川瀬様、杉沢様
財 大木様、三枝様
看 小林様
スタッフ 森林組合:1名
イ L 高橋⑨、東⑫、森本⑤、飛田⑮、山崎⑫、渡部⑦、谷⑭、妙泉⑮、星野⑬、西岡⑭
研 松山⑩、湯浅⑪、門澤⑫、横内⑯、加納⑯
安パト 松永⑪、鈴木⑭

前年度に引き続き実施する場所であり、平坦地はほぼ終了し傾斜地から尾根部分に至る竹林の皆伐作業を行った。

当日は朝より晴れておりこの時期としては条件の良い天候であった。今年度は募集人員も半減しており、作業区域は昨年より広く展開して作業が出来る環境ではあったが、各班ともリピーターも多く、かなりのスピードで伐採しており、時折ブレーキをかけ安全作業を担保する場面もあった。集積場所も限定して行ったため、伐採後の集積作業にも時間を掛け無事に作業を終了した。

終日天気もち、気持ちのよい作業が出来たと思う。（記 高橋 修⑨）



やどりき水源林ミニガイド

「やどりきの森へ行こう」開催

やどりき水源林にて 3/14(土)に開催します。見ごろになったミツマタの花を観察します。(詳細は下記案内を参照ください)

申込先

かながわ森林インストラクターの会
k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

「森の案内人」情報

3 月から森の案内人再開します。

「やどりき水源林ニュース」

<http://www.forest-kanagawa.jp/4field.html#field02>

3 月号から再開です。

●問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

イベント情報 & ご案内

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当: 井出恒夫)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等・パートナー様向け担当>

柳澤 Mail: cherril@gk9.so-net.ne.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】阿藤 寿孝

Tel: 045-433-4413

Mail: hisa-ato2@22.netyou.jp

原稿は随時受付けています。

編集後記

★ コロナウィルスの影響が出て先行き心配ですね。なんと笑点も後楽園ホールでの公開収録が中止になりました。でも笑いは免疫力を高めると言われています。こんな時こそ大いに笑いましょ！ (笠原)

★ここ 1 か月余りは、新型コロナで外出は控えています。中国はなんとか山場を越えそうですが、日本はこれから増えるのでは？と心配しています。杞憂になれば良いのですが。 (吉田)

★新型コロナウイルス騒動！！感染しないようにするには人ごみに行かないのが一番です。外出した時は手洗い消毒をこまめに行うこと。先日たまたま薬局でアルコール消毒液 500ml をゲットできました。 (阿藤)

★⑦期伊藤恭造さん長い間の広報への支援、協力、協働ありがとうございました。

特に紙セット等へのテクニカル・スプリット(紙しごき等の神技術で機械トラブルを少なくする等、日本人だけが持っている 気づき、対応)を学ばせて頂きました。

原点回復 (Go back to the basics) です。ほんとにありがとうございました。 (松本)

★丹沢はコロナもインフルもない清々しい空気に包まれています。往復の電車も、いつもより空いているようです。こういう時こそ山に入りましょう！ (竹内)

★新型コロナウイルスの影響で、軒並み周りのイベントが中止になっています。自粛ムードに最初に気持ちが萎えそう。 (黒川)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 かながわ森林インストラクターの会宛まで 2000 円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から 12 回/1 年間お届け致します。

編集人: 黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ 加藤優美

阿藤壽孝 竹内明彦 柳澤千恵美

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

16 期生を迎えて、4 月にメンバーの入れ替えがあります。

529ヘクタールの水源の森からのホットなご案内

森の案内人★特別企画

無料★要申込

やどりきの森へ行こう！

第3回テーマ: 群生するミツマタの開花を観察

開催日: 3月14日(土) 雨天決行 申込締切: 3月2日(月)

場所: やどりき水源林(足柄上郡松田町寄) 定員: 50名(先着順)

集合: 小田急小田原線新松田駅北口に 8 時 30 分までにお越しください。

かながわ森林インストラクターがご案内いたします。

※新松田駅～やどりき水源林ゲート間はバス送迎となります。(バス代は各自負担: 片道 620 円)

帰路: 現地 14:30 発 ⇒ 14:10 新松田着

“ミツマタ”の群生をみながら、森林浴でリフレッシュ！



◎フサザクラ、ダンコウバイの花も見頃です。
水源林は本番の春を迎える躍動感で一杯です。

◎モモンガに逢えるといふ♪

※写真はイメージです

● 問合せ先: 公益財団法人かながわトラストみどり財団 みどり森林課
TEL: 045-412-2255 web サイト: www.ktm.or.jp

● 申込み先: NPO法人かながわ森林インストラクターの会
住所: 〒243-0018 厚木市中町 2-13-14 サンシャインビル 604
E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

参加者全員の氏名、住所、電話番号を記入の上、往復はがき、又はメールでお申し込みください。
多数応募の場合は、受付順とさせていただきます。参加いただける方は後日、詳細を記した参加証を送付させていただきます。